

1 学年進路講演会（第1 体育館にて）

5月31日(火)に1学年対象の進路講演会が行われました。

お二人の講師に来ていただき、岩手県職員の広瀬千晶氏(本校平成 15 年度卒)には、「寄り道で見つけた大切なこと」、和同産業株式会社の三國卓郎氏(本校平成 6 年度卒)には、「私たちはなぜ仕事をするのか」というそれぞれの演題で、高校、大学、社会人でのご経験を交えながら、お話しいただきました。



【生徒の感想】

- ・沢山の寄り道があっても、その一つ一つに全力で取り組めば 全部自分の力になって武器になるということが、とても納得して印象に残りました。
- ・現時点での実力ではなく、成長の傾きが大切。工夫して自分の意見を言う。言われたことをただやっているだけでは 単純作業をするロボットと同じ。
- ・「無駄なことは1つもなかった。本気でやれば、全て自分の武器になる。全力でやってみよう。全力で楽しもう。」という言葉がとても印象に残りました。講演を聞いて、勉強も部活の全力で頑張っていきたいと思いました。
- ・不満などを周りのせいにししないで、自分でどうにか解決しようとするのが大切だということが印象に残った。また、地元に貢献したいという気持ちから様々なことに挑戦する姿勢が素敵だなと思った。
- ・まず、本発表で目指すこととして、目的を考えるきっかけを作るということを目指すというのがすごいと思いました。そして、会社や大学の選び方が参考になりました。条件や環境で選ぶことも少しは大事だけど、会社にぶらさがるのは無く自分で会社を変えていくつもりで仕事をしたいと思いました。
- ・自分が今いる環境に甘えるのではなく、自分から工夫し変えていくことが大切だと思った。そして、集団全体をいい方向に導いていくことが出来れば最高の結果だと思った。何が必要かを深堀していくことで、自分のやるべきことが見えてくるのがわかった。自分に反対してくる人がいても、別の方法を考えて、諦めず変えていくことが大切だと分かった。宮沢賢治の告別を読んでみたいと思った。

・今まで、仕事は一度その職についたら定年するまで続けるものなのかなと勝手な偏見を持っていたが、仕事を通して自分のやりたいことをさらに見つけて、それをやるために自分から行動して、新しい職に就くのもいいなと思った。変化というものはすごく大変だし、恐ろしいことでもあるけど、自分でやりたいということをやっているって尊敬するなと思った。いろんな職を体験したからこそその強みを活かしているなと思った。私は、将来は岩手じゃないところで働く気でいたけど、広瀬さんのお話を聞いて、地域のために働くのもいいなと思った。広い視野で考えられるようになったのでよかったです。

・失敗を恐れず前を向いて自分の道を切り開いていく姿勢がとてもかっこいいと思いました。私も、転職の多いことにいいイメージを持っていない人の一人でしたが、「本気でやれば、全て自分の武器になる。」という言葉でそのイメージはうすれました。私は好きなものや興味のあることはありますが、まだ将来の職業や大学を決定できるほど限られてはいないので1つの進路を決めるのは大変だと思っていました。しかし、自分のしたいことにどんどん切り替えて行くというのも1つの選択だと知って人それぞれの働き方の形があるのだと知りました。自分のスキルをいかせるようにするためにも全力でやることを大切にしたいです。

・将来、自分はどういう気持ちで仕事をすればいいかを初めて考えようかと思った。信念をしっかりと持てるようになりたい

・自分はなんのためにこれをやっているのかを考えることが目的意識を持つ上で大切だということを学んだ。また、「いい大学に入る」ではなく、そこで何をするのかが大切という話が印象に残った。

・仕事をする理由として、自分のため、家族のためはもちろん、周りのひとのためというのが、企業をより大きくするし、よりよい製品に繋がると思うので、勉強を仕事と思って、取り組みかたを工夫していきたい。

・目的を持って行動することがすごいと思いました。私も、大学や会社を決めるときは目的を持って決めようと思います。また、私も受け身な性格で集団の中でみんなに合わせればいいのかと思ってしまい、流されて楽をしようと思うのですが、これからは自分の意見を出せるように頑張ろうと思いました。

・なぜ？なんで？と自身や製造品について問いかけをすることで、自身のことについて深く考えられたり、なぜ、何のために製造品を開発するのかを考えたりと理由を探し、考えることが大切なのだと感じた。自分も勉強、部活、進路(大学)などについて問いかけを重ねその意味やなぜそう思うのか考えていきたいと思う。

・将来、大学や会社を選ぶときのことや表現することの大切さ、アイデアについてのお話が印象的でした。これから高校を卒業して大学生なり就職なりするときに、大切なことを教えていただき、進学・就職した先で何を成すかが重要だということを知りました。どこに進学・就職するかよりもそこでどんな行動をするかが必要になってくると思うので、大切にしたいです。

・行動する目的を明確化することで自信を持って継続的にそれに打ち込めるようになり傾きが大きくなるのだと思いました。自分もはずかしいと思ったり、受け身になったり、目的が明確でなかったりすることがあるので、そこをしっかりとさせていきます。会社や花巻、世の中を変えることはとても大き

なことに聞こえますが、先人がやってきたように自分たちにもできることなのだと気づくことができました。変化を恐れず表現することを大切にしたいと思います。

・特に心に残ったのは、「仕事には相手がいる」という言葉です。三國さんのようにお客様のことを第一に考えて最善を尽くしている姿に感動した。また、目的意識を持って物事を行うことの大切さも学んだ。私にはそこが欠けていると思うので、目的意識を持つということを日頃から意識していきたいと思った。さらに、「いい会社とともに何を成すか」という言葉も心に残った。いい会社に入ることよりもこの所で自分は何を成すのかが大切だとわかった。会社を変えていく人材が必要になってくるのだなと思った。私もそのような人材になれるように、日頃から考え、それを言語化することを意識して生活していきたい。